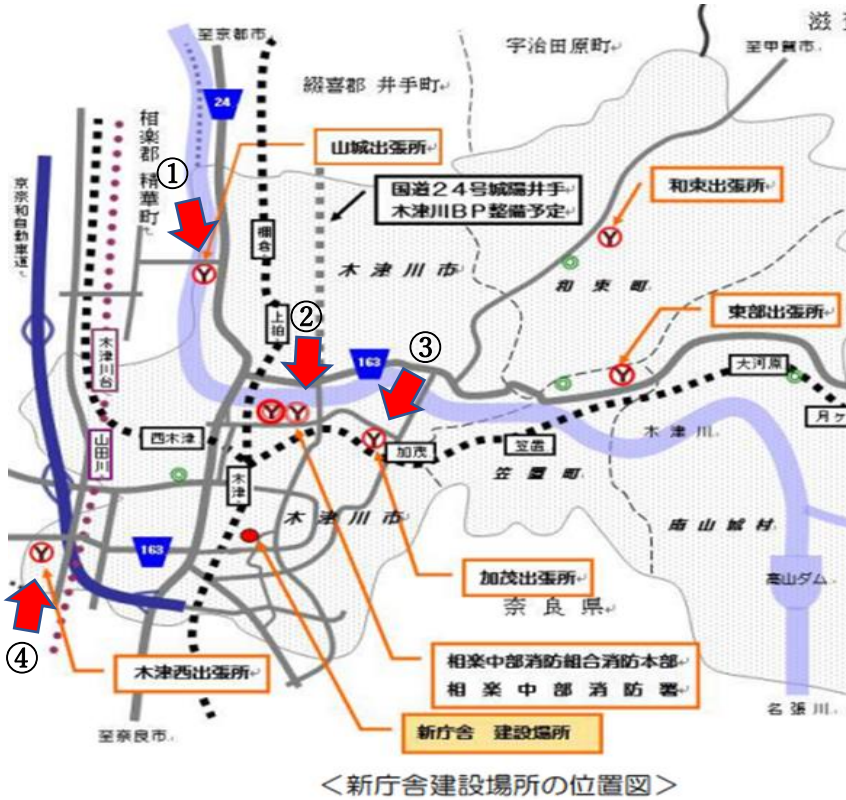


住民の安心安全を守れない消防庁舎移転・統廃合計画



<新庁舎建設場所の位置図>

現在、木津川市内には、4か所の消防署があります。

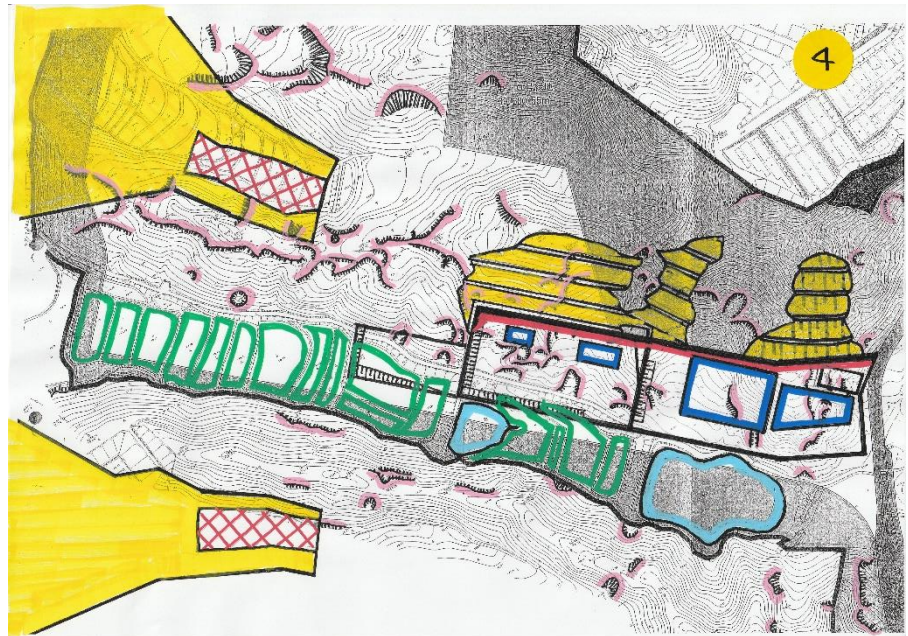
赤の➡

- ① 山城出張所
- ② 木津西出張所（兜台）
- ③ 加茂出張所
- ④ 相楽中部消防署

消防防災科学センターの報告書には、全ての出張所を残して、高齢化に伴う救急搬送体制の充実を図るように示されています。しかし、市の統廃合計画では、①の山城出張所と②の木津西出張所を廃止する計画が示されました。

昨年、消防組合のHPのが修正され、「山城出張所の廃止に関しては、城陽井手木津川バイパス及び周辺道路の整備が行われ、道路ネットワークが強化された後に、再調査を行い検討することとした。」となりました。しかし、市が京都府に提出した書類には、何一つ変更は行われていません。

問題の移転先の城山台9丁目1番地



2つの出張所を統廃合する、大規模な新消防庁舎建設計画です。滑落崖が多数あり、木津東バイパス工事の残土で盛土されている土地ですから、造成に多額の費用がかかります。

	城陽市	木津川市
建設年月日	令和2年	令和7年完成予定
延床面積	約3,600㎡	約4,500㎡
造成費用	9,600万円	6.1億円
建設費用	約16.8億円	約43.1億円
合計	19億4,600万円	49億2千万円

消防庁舎建設予定地には、昭和58年の航空写真で、段々畑とため池があったことがわかりました。ミズのようなピンク色の線は、滑落崖です。

庁舎建設予定地の北側は、傾斜度30度以下になるように斜面安定化工事が行われます。西側にある大きな黄色の扇型の部分は、土砂災害特別警戒区域です。

※城陽市は、インフラ整備、旧庁舎解体、備品・什器、アドバイザー会議費用等が加算され、総費用27億円となる。